

【市議会最前線】しゃべりながら傍聴できる？新議場で開かれた議会へ＝草加市（埼玉県）

24/08/01 08:00 Ln1

草加市役所本庁舎は、建設後50年以上が経過し、建物の老朽化とともに、行政需要や職員の増加による狭あい化を解消するため、新庁舎への建て替えが決定されました。草加市議会では庁舎建て替えに伴う、新議場及び委員会室の設備や、議場システムに求められる機能について、平成28年及び令和3年に設置した議会改革特別委員会において議論してきました。議論された内容を踏まえ完成した新議場での議会運営は令和5年6月定例会から行っています。

新議場の傍聴席は、議場全体の様子がわかるようにするとともに、車椅子での傍聴に昇降機が不要となるよう、傍聴席入口から傍聴席までの段差をなくすために、議場より上の階に設置しています。また、傍聴席については、車椅子傍聴席や「しゃべれる傍聴席」を含めた最大56席を確保しています。今回設置した「しゃべれる傍聴席」は、前面がガラス張りとなっていて議場内が見渡せるほか、議会中継の映像が流れるモニターを設置し、部屋自体を防音設計としているため親子のみに限らず、障がいをお持ちの方や友達同士など、利用者を限定せず誰でもおしゃべりしながら議会の傍聴することができます。また、傍聴席には磁気ループ補聴システムが導入されており、対応している補聴器を使用している方は、直接補聴器に音が届くため、聞き取りやすくなっています。



しゃべれる傍聴席

あわせて、気軽に議会の会議を傍聴してもらいたいという思いから、従来行っていた傍聴券の交付を廃止し、傍聴者は傍聴手続きの必要なく自由に傍聴席に出入りできるようにしました。

さらに、本会議に加え、委員会の中継及び録画放映を行っており、中継画面には音声認識AIによるリアルタイム字幕を表示しており、いつでもどなたでも傍聴しやすい環境を整備しています。

会議以外の新議場の活用としては、市内の大学生によるジャズコンサート、クリスマスコンサートや、小・中学生を対象とした「なつやすみ議会見学会」を開催し、新議場の設備の紹介や議会クイズ等を実施しました。



議場

そして、議会図書室の利用については、今後、市立図書館の電算システムを議会事務局に導入することで市立図書館と連携し、議会図書室に市立図書館の所蔵資料を配架するとともに、テーマ本コーナーを設置し、令和7年度から議員に限らず市民向けのサービスを開始する予定となっています。

草加市議会では新庁舎の設備を活用しつつ、今後も開かれた議会を推進していきます。（了）

※本印刷物は時事通信社 iJAMPサービスから印刷されました。